

2024 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	植物ジュニアレンジャー活動(3) ～海岸植物の工夫は?～			
月日・時間	2024年6月22日(土) 10:00~13:30			
開催場所	県立観音崎公園			
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	13名	講師数 5名
写真・画像				
	海の中に弾薬の荷揚げ設備が残っていた		アスカイノデを観察しました	
				
	みんなで灯台に登って楽しみました		「トビムシ」がいっぱいはねた	
成果解説	<p>植物ジュニアレンジャーの活動として、海の世界も知ることにより、自然環境の豊かさとは何かを考え、持続可能な環境の維持について、伝え育てることを体験することがこの講座の目的です。</p> <p>県立観音崎公園のパークセンターにて、海岸植物の工夫や観察と調査について説明し、海と陸地が接する場所は、自然環境が異なり、エコトーン(緩衝地帯)として豊かな生態系が生まれていることを学びました。海岸の砂浜ではピョンピョンとはねる「トビムシ」と、日本で最も長い植物名の「アマモ(別名:日本で一番長い名前のリュウグウノオトメノモトユイノキリハズシ)」を観察しました。次に、海岸植物の工夫として、水分をため込む「タイトゴメ」、風雨に強い「ラセイタソウ」、葉が大きな「カミヤツデ」などを観察しました。また、「オカヒジキ」や「ツルナ」など食べることができる海岸植物も興味をもって観察しました。</p> <p>午後は東京湾防塞設備の砲台跡、海岸特有植物の「アスカイノデ」を観察した後、灯台へ登って、東京湾の眺望を楽しみました。パークセンターに戻って、植物ジュニアレンジャーを目指して、海岸植物を観察したことや活動について発表を行いました。</p>			